

特集 平成31年度 飛騨市の予算 一般会計 186億1,000万円

市議会3月定例会において、平成31年度当初予算が可決されました。

一般会計および特別会計、企業会計の総額は298億8,644万円で、前年度当初予算と比較して7億6,516万円の増(+2.6%)となりました。

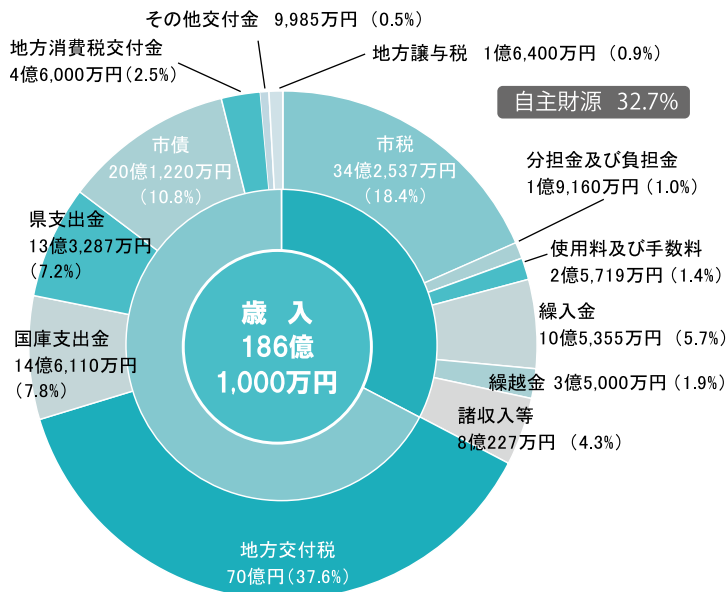
●当初予算の規模

会計区分	予算額	対前年比
一般会計	186億1,000万円	+4.0%
特別会計	84億5,000万円	+1.0%
企業会計	28億2,644万円	△1.5%
総 額	298億8,644万円	+2.6%

※増減率は、平成30年度当初予算との比較です

■予算の特徴
平成31年度は、これまで進めてきた「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」を政策の柱としつつ、市民の皆様が本当に何に困り、何を望んでいるのかをもう一度深く追求し、「①生活の質を高めるためのスポーツの振興②母親の不安を取り除く産前産後ママサポプロジェクト③最期まで安心して暮らせる終活を含めた遺族を支える支援④市民や企業と一緒に取り組むごみの減量化⑤課題解決能力を育む保小中高特連携教育を行う飛騨市学園構想の推進」の5つを重点施策に位置づけて、「身近な暮らしの充実」を市民の皆様にご実感していただける施策を展開していきます。

●一般会計歳入



外部財源 67.3%

●特別会計・企業会計予算の内訳

会計区分・会計名	予算額
特別会計	84億5,000万円
国民健康保険	29億4,330万円
後期高齢者医療	3億9,760万円
介護保険	33億6,460万円
公共下水道事業	9億3,700万円
特定環境保全公共下水道事業	1億7,900万円
農村下水道事業	3億2,100万円
個別排水処理施設事業	1,550万円
下水道汚泥処理事業	1億6,100万円
駐車場事業	430万円
情報施設	9,200万円
給食費	3,470万円
公営企業会計	28億2,644万円
水道事業	7億9,643万円
国民健康保険病院事業	20億3,001万円

■一般会計歳入の状況
市税は企業の業績が好調であることを踏まえ法人市民税の増収を見込むほか、積極的に誘致を進める小水力発電施設に係る固定資産税の増収を見込み、全体で8千万円の増となっています。
地方特例交付金では、幼児保育の無償化に伴って平成31年度に限り措置される子ども・子育て臨時特例交付金を加え、3千1百万円の増となっています。
歳入の4割を占める地方交付税は、合併特例期間の終了や公立保育園の民営化に伴う減額要素もありますが、国の地方財政計画における7年ぶりの増額方針も踏まえ、前年度水準と同額を計上しました。
国・県支出金は昨年の豪雨災害の復旧費用に対する補助や、公立保育園の民営化に伴う私立保育所負担金の増、参議院選挙・県議会選挙委託金の皆増により、全体で5億7千6百万円の増となっています。
線入金については、ふるさと創生事業基金からの線入3億2千4百万円のほか、公共施設の計画的な維持管理に充てる公共施設管理基金からの線入を1億4千6百万円を見込むなど、特定目的基金からの線入を前年度比9千6百万円の増とする反面、財源調整のための財政調整基金からの線入については前年度比9千万円減の3億5千万円に抑制し、全体ではほぼ前年度水準と同額を計上しました。
市債は交付税措置のある有利な市債しか借入を行わないという方針を基本として、地方財政計画を踏まえ臨時財政対策債は9千万円の減とする一方、災害復旧事業債や残り僅かとなった合併特例債を活用し、全体で1千8百万円の増となっています。

■一般会計歳入の状況

▽総務費(前年比△1.9億円)
避難所用冷風機や災害時電力供給が可能な電気自動車を購入するほか、携帯電話不感地域解消のための基地局を設置するなど、災害発生時の体制強化を図ります。

また、飛騨市ファンクラブ特産品購入支援制度の創設、おでかけファンの集い開催等のほか、産学官民連携によるファンづくりのノウハウを構築し、観光客以上移住者未満と定義される「関係人口」の増加を図ります。

▽民生費(前年比+1.5億円)
「全ての人がいつまでも安心して暮らせるまち」の実現に向けて、就学後も療育訓練等の支援を受けられることができるよう、自治体直営では県内初の放課後等デイサービス「きゅんち」を開設するほか、ご自身が亡くなられた後の不安解消のため、身辺整理の手法

などの支援を行う飛騨市終活支援センターを開設するとともに、各種手続きをワンストップで行える窓口を設けます。

▽衛生費(前年比+1.2億円)
不安なく子どもを生み育てられる環境をつくるため、産前産後ママサロンの開設による育児相談や交流会の実施、赤ちゃんの託児業務等を行います。

また、リサイクルの進んでいない衣類を市役所や各振興事務所無料で回収するとともに、持ち込み量に応じたポイントにより市のゴミ袋と交換できる制度を創設するほか、3ヶ月毎に各地域で資源ごみ回収を行うおでかけリサイクルセンターの取り組みを始めます。

▽農林水産業費(前年比△1.2億円)
飛騨産米のブランド化と認知度向上のため、農家向けセミナーの開催やパッケージ製作支援、消費

者へのPR機会の創出など、ブランドینگ(消費者と価値を共有し、ブランド品として認知させること)の支援を図ります。

畜産業では、飛騨牛繁殖研修センター研修生への支援を行い、産官一体となって飛騨牛の生産基盤を強化するとともに、飛騨地鶏においては市内での食鳥処理が可能となったことを受け、地域内流通の拡大を図ります。

林業では、小径木広葉樹を活用した新商品の全国展開を支援するほか、水源涵養林の保全・保育を目的とする官行造林地の経営権を取得するなど、将来を見据えて森林資源の活用を行います。

▽商工費(前年比±0億円)
外国人技能実習生への就職奨励金制度の創設や生活文化相談員の配置、国のトライアル雇用助成金に市単独の上乗せ給付など、市内企業の人材不足に対する外国人材

活用支援策を大幅に強化するとともに、Uターン就職促進のため高校生を保護者を対象としたセミナーを開催するほか、中小企業診断士を配置する飛騨市ビジネスサポートセンターを開設するなど、事業者に寄り添った支援体制を強化します。

観光分野では、現地でしか体験できない「コト消費」に目を向け、農家と連携した通年型オーナー制度や薬草、森林資源等を活用した体験型商品を作成するとともに、インフルエンサーの招へいやインスタフォトコンテストの開催により認知度向上を図ります。

また、映画、ドラマ等の市内口ケにかかる費用の一部を補助する制度を創設するなど、行ってみたいくなる観光地づくりを推進します。

▽土木費(前年比+1.7億円)
これまでの地域振興費を基盤整備事業全般に対応する地域基盤振

興費に改め、地域などからの要望に迅速かつきめ細かく対応できる体制を整えるとともに、災害を未然に防ぐための各インフラの強靱化を進めていきます。

また、国、県の補助事業を積極的に活用し、市道寺之町線の無電柱化整備や公園の長寿命化対策等を進めるほか、住宅性能向上リフォーム助成制度等を継続して行います。

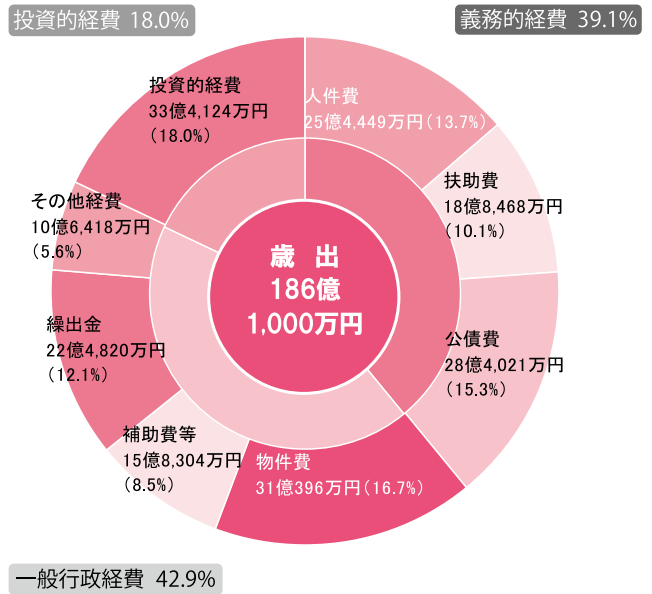
▽消防費(前年比+0.4億円)
市民の皆様の安全な暮らしを守るため、消防団可搬ポンプ積載車4台の更新や避難路確保に効果的な水幕ホースを新たに配備し、地域消防力を強化するとともに、高規格救急自動車1台の更新や認定救急救命士の養成、山之村地域に防災ヘリポートを整備するなど、高度で安定的な救急サービスを提供します。

▽教育費(前年比+1.4億円)
生活の質を高めるスポーツの振興を図るため、スポーツ施設整備計画に基づいた桜ヶ丘体育館のトレーニング室の整備を始め、スポーツ施設の整備・改修を進めるとともに、健康をキーワードとしたウォーキング関連のイベント開催など、スポーツ機会の確保や普及推進を図ります。

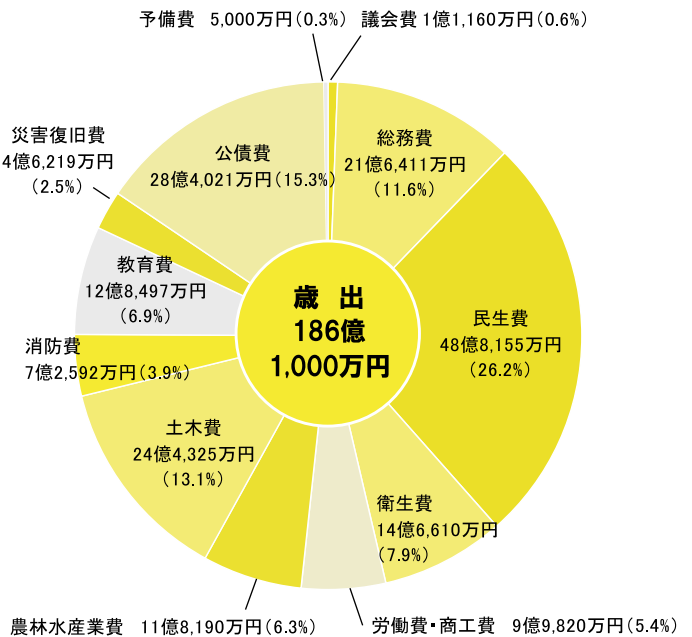
教育分野では、保育園や学校、家庭、地域が連携・協働し、課題解決型人材育成を目指した「飛騨市学園構想」を構築し、保小中高一貫カリキュラムの実施、コミュニティースタイルの導入、各校種間交流を軸として、これからの社会を主体的に生き抜く子どもたちの育成を目指します。

次のページからは、平成31年度的主要事業を紹介いたします。また、予算の概要・各主要事業の詳しい内容は市のホームページでもご覧いただけます。

●一般会計歳出(性質別)



●一般会計歳出(目的別)



平成31年度の

主要事業

主な事業の概要と
予算額を紹介します

◆元気な産業が集まるまちをつくる

- ◎外国人技能実習生等の就職奨励金の創設……………40万円
外国人技能実習生等、外国人同士の広域なネットワークの中で市のイメージを上げ、就業地として選んでもらえるよう奨励金を交付します。
- ◎「飛騨市ビジネスサポートセンター」の開設……………493万円
現在実施している「岐阜県よろず支援拠点」とあわせ、事業者に寄り添った支援体制を構築し、市内の全ての事業者が気軽に相談できる環境を整備します。
- ◎飛騨市産米のブランド化とPRの強化……………122万円
農家向けセミナーによる飛騨市産米の高付加価値化の意識付けとあわせ、パッケージ制作の支援や、生産者が直接消費者へPRする機会を創出します。
- ◎飛騨産飛騨牛のPR推進……………30万円
「飛騨産飛騨牛」ロゴシールを作成し、市内精肉店等での販売時にシールを貼って販売する体制を構築することで、飛騨地域産飛騨牛のPRを推進します。
- ◎飛騨地鶏のブランド向上と地域内流通推進……………50万円
飛騨地域内での飛騨地鶏の流通のため飛騨地域内飲食店等へのPRを行うほか、養鶏専門家による飼養管理研修会の開催や飼料の研究を行います。

●あんきな飛騨市をつくる

◆全ての人がいままで安心して暮らせるまちをつくる

- ◎終活を含めた遺族に寄り添う支援……………250万円
「飛騨市終活支援センター」を開設し、エンディングノートの作成支援や、遺族への支援として、葬儀会社や遺品整理業者、司法書士などの各事業者とのつなぎを行うなど、寄り添った支援を行います。また、市役所での死亡後の各種手続きをワンストップで行える体制を整備し、遺族の負担軽減を図ります。
- ◎「産前産後ママサロン(仮)」の開設……………149万円
産前産後の母子を対象とした助産師によるママサロンをハートピア古川内に開設するほか、母親同士の交流会を開催し、気軽に育児相談ができる体制を整備します。
- ◎助産師による赤ちゃんの託児事業の支援……………45万円
市内で託児をおこなっている「スマイルキッズ」と助産師会が連携して、乳幼児の託児を実施することにより、母親の育児疲れの軽減と心身のリフレッシュを図ります。
- ◎掃除など子育て支援ヘルパーの派遣支援……………36万円
助産師による訪問型支援にあわせて、家事支援を行うヘルパーの派遣と費用の一部を助成し、母親の家事負担軽減と、産後の母親の不安解消を図ります。
- ◎多機能型障がい者支援施設の建設……………1億8,207万円
多機能型障がい者支援施設を神岡町山田地内に建設し、日中安心して過ごし働くことができる環境を整備するほか、地域交流を図るスペースを施設内に設置します。
- ◎放課後等デイサービス「きゃっち」の開設……………609万円
運動を通して、心身の発達を促すとともに、仲間作りなど社会生活能力を学べるよう個別のプログラムをたてて支援する放課後等デイサービスを、市直営で開設します。
- ◎障がい者就労施設の安定した受注確保の支援……………30万円
障がい者就労施設が企業等からの安定した受注を確保するため、発注企業を「応援事業所」として認定し、購入金額の一部を発注企業へ支援する制度を創設します。

●元気な飛騨市をつくる

◆みんなが楽しめるまちをつくる

- ◎桜ヶ丘体育館健康増進トレーニング室の整備……………1,820万円
桜ヶ丘体育館の会議室を有酸素系トレーニング室として改修し、あわせて、ランニングマシンやエアロバイクといった有酸素系器具を増設します。
- ◎飛騨市屋内運動場整備検討委員会の発足……………34万円
全天候でスポーツが楽しめる新たな運動場の整備に向け、検討委員会を設置し、建設場所や施設の内容等について検討を行い、次年度以降の整備につなげます。
- ◎薬草の展示・体験施設の開設……………271万円
薬草活用を更に推進するため、古川町市街地の空き家を活用して、薬草の展示やティーセレモニーなどの体験、商品の販売等を行う施設を開設します。
- ◎フードダイバーシティの推進……………215万円
ムスリム・ベジタリアン等に対応できるメニュー表示化と、対応飲食店を中心とするマップを作成するとともに、受入れ時の注意事項などを学ぶ研修会を開催します。
- ◎市内ロケ誘致のための補助制度の創設……………60万円
市内での映画やドラマなどのロケを誘致するため、ロケにかかる費用の一部を支援するほか、市内で開催する映画上映会等の開催についてもあわせて支援を行います。



●誇りの持てる飛騨市をつくる

◆飛騨市の未来をつくる

- ◎「飛騨市学園構想」の推進……………507万円
市内全ての保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学校、さらには家庭や地域とも連携・協働して、課題解決型人材育成を目指した「飛騨市学園構想」を構築し、①保小中高一貫カリキュラムの作成・実施、②コミュニティスクールの導入、③各校種間交流等の3本柱を軸として、これからの社会を主体的に生き抜く子どもたちの育成を目指します。
- ◎ICTを活用した授業づくり……………5,749万円
ICT環境（固定式電子黒板、デジタル教材、無線LAN等）の整備と、それらを活用した授業づくりの実践研究を行い、教育情報化の推進を図ります。
- ◎部活動指導員の配置……………141万円
部活動が生徒にとって有用なものとなるよう、市の現状を踏まえた「部活動指針」を定め、あわせて、教員の多忙化を解消するため部活動指導員を配置します。
- ◎飛騨まんが王国声優講座の市民体験会等の開催…134万円
賢プロダクションの声優による朗読劇や、中高生を対象とした声優体験のほか、声優の卵が参加する夏合宿を市民に公開するなど、魅力を広く市民に伝えます。
- ◎天生の森の環境デザイン計画の策定……………320万円
天生の森の遊歩道等を調査し、生態学的整備手法や休憩箇所の快適性等、自然公園としての快適な空間を創出するための環境デザイン計画を策定します。
- ◎飛騨市美術館リニューアルの基本設計……………1,000万円
空調設備の更新をはじめ収蔵庫の拡張など、現在の美術館が抱える諸課題の解消に向けた美術館リニューアルの基本計画を策定します。



◆協働と交流が根付いたまちをつくる

- ◎関係人口を活用した地域課題解決プロジェクト…166万円
実際の地域課題の解決を通じて関係人口が生まれる仕組みを研究し、その結果を基に、勉強会「飛騨ファンづくり塾」を市内事業者等を対象に開催します。
- ◎ふるさと兼業を活用した飛騨市モデルの実施……………50万円
兼業・複業など新しい働き方を希望する方々と市の主要事業をマッチングし、多様な人材の知見等を政策に活かすとともに、市のファン拡大を図ります。
- ◎民間が行う宅地分譲整備の支援……………制度創設
民間の事業者が行う宅地造成について、上下水道本管整備工事を市が施工支援し、民間活力を活かしながら市内への定住人口の増加を図ります。

- ◎運転免許自主返納者への支援……………45万円
70歳以上で運転免許を自主返納された高齢者に対し、移動手段としてタクシーやひだまるの利用を支援することを目的に、いきいき券を1冊ずつ3年間支給します。
- ◎民間活力を利用した飛騨市民病院研修医住宅の整備…2,860万円
研修医の研修環境の改善を図るための研修医住宅を整備し、その手法に民間活力を導入することで、建設コストを下げ維持管理業務量の低減を図ります。



◆安心・安全を実感できるまちをつくる

- ◎企業との飛騨市ごみゼロパートナー宣言の実施……………41万円
ごみ減量化の取り組みを宣言する事業者をごみゼロパートナーとして認定し、取組内容等を市がPRすることで、企業のイメージアップと他事業者への啓発につなげます。
- ◎リサイクルポイント制度による衣類リサイクルの推進…10万円
指定回収日に衣類を市役所や各振興事務所で受け付け、持ち込み量に応じたポイントで市ごみ袋と交換できる制度を構築し、衣類のリサイクル促進を図ります。
- ◎「もったいない」を無くすごみゼロ月間の推進……………15万円
小学生を対象にリサイクルの授業を行い、作成してもらったポスターを飲食店等で掲示し、あわせて「ぎふ食べきり運動協力店」への加入促進を図る食品廃棄ゼロを目指します。
- ◎ごみ減量の推進を図る「エコサポーター」の育成……………5万円
ごみ処理施設見学などの研修をおこない、地域のごみ減量を推進する「エコサポーター」を市独自で認定し、ごみの分別やリサイクル啓発の人材育成を図ります。
- ◎「飛騨市おでかけリサイクルセンター」の導入……………44万円
飛騨市リサイクルセンターで扱うごみ等について、3ヶ月ごとに各地域に出張して回収を行い、あわせて、リサイクル情報をPRすることで、意識啓発を図ります。
- ◎地域消防力の強化……………6,013万円
山之村地区におけるヘリポートの整備を行うほか、消防団装備の充実強化、消防団車両の更新を行います。また、消防団と飛騨市消防本部による合同訓練も実施します。
- ◎公用車への電気自動車の導入……………403万円
公用車更新の際、新たに電気自動車1台を導入し、災害時に停電した避難所等において車両から電力供給するなど、「動く蓄電池」としても活用します。
- ◎「地域基盤振興費」の創設……………1億5,000万円
市民要望等に迅速な対応を可能とするための「地域振興費」を、基盤整備事業全般に対応する「地域基盤振興費」に改良し、より柔軟にきめ細かく対応します。